

山頂から3.4キロ そうめん流し

井手町多賀の万灯呂山（標高304㍎）で23日、放置竹林の整備に取り組む若者グループが、山頂からふもとまで3・4キロのそうめん流し日本記録に挑戦した。間伐した竹で作った道を、1キロすぎで止まり、記録の2・3キロの更新はならなかった。

同町や木津川市の20代の若者でつくる「京都たけプロジェクト」が、放置竹林の問題に関心を持ってもらおうと企画した。京滋や三重などから300人が集まり、5日間かけて竹を切り

声援むなしく1キロ余で止まる 井手

若者グループ「記録に再挑戦したい」



出し、といと足場を組んだ。汐見明町長が午後1時44分、紅白のそうめん88㍎を流した。切れ切れのそうめんに、沿道の子どもたちが「頑張れ」「行け」と声援を送った。といのつなぎ目で水が漏れるため水流は徐々に弱まり、スタートから1032㍎の地点で流れ

なくなった。

プロジェクトの上田悠貴代表（23）は「放置竹林への関心を高めることはできた。正直悔しく記録には再挑戦したい」と話した。

（松浦吉剛）

山の上からゆっくり流れてきたそうめんへ声援を送る子どもたち（井手町・万灯呂山）